

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験

博士課程前期課程

経営学研究科
企業経営専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	10月	P.1～	
	2月	P.4～	
外国人留学生入学試験	10月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験(本学4回生対象)	10月		
	2月		
学内進学入学試験(本学他研究科2回生対象)	2月		
APU特別受入入学試験	10月		
	2月		
飛び級入学試験	10月		
	2月		

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験

博士課程後期課程

経営学研究科
企業経営専攻

入試方式	実施月	
一般入学試験	10月 2月	筆記試験なし

以下の経営学分野・会計学・ファイナンス分野の問題 1～8のうち、2つを選択して日本語で解答しなさい。
 答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

問題 1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 市場シェア
- ② 価格弾力性
- ③ ポジショニング
- ④ 流通チャネル
- ⑤ フルライン戦略

（2）ある特定の製品やサービスを一つ取り上げ、それがどのような便益の束によって構成されているのかを説明しなさい。

問題 2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 日本企業（製造業）の国際経営戦略の展開は、販売の国際化（輸出）、生産の国際化（海外生産ないし現地生産）、研究開発の国際化（海外研究開発）が順序的かつ累積的に展開してきた。この場合の「順序的かつ累積的」が意味するところを説明しなさい。
- ② 海外生産において、1985 年の「プラザ合意」による円高に伴い、日本企業（製造業）の海外生産は「仕方なしの海外生産」から「グローバル適地生産」と性格が大きく変化した。この場合の「グローバル適地生産」とは何かについて説明しなさい。
- ③ 国際的な技術移転は、技術指導、技術吸収、技術の共同開発によって行われている。それでは、日本企業（製造業）が国際的な技術移転を行う際の、3 つの特徴について説明しなさい。
- ④ 多国籍企業は国際経営マネジメントにおいて、各国・地域への適応、事業の世界的な調整・統合、職能の世界的な調整・統合の 3 種類の管理課題に取り組むことを要請されている。それでは、これらの管理課題にいかに対処すべきか、Bartlett & Ghoshal（1989；邦訳 1990）の企業の組織を生物学あるいは医学の比喩を用いて、3 つの要素ないし側面から説明しなさい。
- ⑤ 日本企業（製造業）が新興国の中間層（ボリュームゾーン）をねらう戦略において、下向きの開発（あるいは「引き算の開発」）を行わなければならないと指摘されている。この下向きの開発とは何かについて説明しなさい。

（2）以下の文章をよく読み、日本的な国際経営マネジメントが「日本人が、日本語で、日本的に」から「現地人社長、英語、内なる国際化」へと変化していることについて、日本企業の国際化の進展という観点から論じなさい。

国際経営マネジメントの日本的特徴は、「日本人が、日本語で、日本的に」マネジメントするところにあったが、これらの日本的な国際経営マネジメントも時間をかけて、すこしずつではあるが変化している。国際経営マネジメントの変化は、具体的にいうと、現地人社長、英語、内なる国際化の 3 つの進展である。

第 1 に、海外子会社のひとの現地化は、ローマネジメントからはじまり、ミドルマネジメントへとすすみ、やがてトップマネジメントにまで至る。近年では、米国、欧州、東南アジア、中国などの重要拠点においても、現地人社長がみられるようになっている。

第 2 に、英語化もすすんでいる。社内公用語英語化を打ち出した企業が出て、注目をあつめている。楽天とファストリテイリングである。社員全員に TOEIC 受験を義務づける企業がある。管理職への昇進の要件に TOEIC の点数をふくめるところがふえている。

国際経営の進展につれて、海外勤務経験者はふえており、本社の男子社員のかなりの割合（30%から 50%の企業はめざらしくない）を占めるようになっている。海外勤務経験者の多くは、英語力のレベルに差はあっても、基本的に英語でコミュニケーションできる。英語のできる社員は、着実にふえているのである。

第 3 に、日本親会社の内部の国際化である内なる国際化も進行している。親会社のなかの外国人管理者、専門家、研究開発者はふえている。本社採用の外国人の新入社員もめざらしくない。さらに、外国人社長も出はじめている。

（出典：吉原英樹『国際経営』第4版第4刷，有斐閣，2017年，pp.294-295. ISBN:978-4-641-22064-5）
 権利者の許可を得て掲載

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① ドメイン
- ② M&A
- ③ 製品差別化
- ④ 参入障壁
- ⑤ 経営理念

（2）セブン・イレブンの成功要因を、以下の言葉を使って説明しなさい：ドミナント出店、フランチャイズ、POS

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 組織論の古典的理論では、組織を「権限と責任の体系」「仕事を達成するための手段」として、合理的な分業体制としての職能構造、つまり正式組織をとらえる組織観であった。それでは、テイラー(Taylor, F. W.)の科学的管理法(scientific management)とは何かを説明しなさい。
- ② 近代的組織論は、組織における人間行動に焦点を当て、組織を人間的要素からなる一つのシステムと考えた。それでは、バーナード(Barnard, C. I.)の組織均衡論(theory of organization equilibrium)とは何かを説明しなさい。
- ③ 企業が組織領域を多角化するにつれて、従来のような職能部門別の集権的組織では効率的な経営が困難となった。そこで、分権的管理を実行する組織形態として事業部制組織を導入している。それでは、事業部制組織とは何かを説明しなさい。
- ④ ワーク・モチベーションでは、人は何によって働くことが動機づけられるのかと(内容説)、人はどのようにして働くことへと動機づけられるのか(過程説)、について議論されてきた。それでは、後者について、ローラ(Lawler, 1968)の期待モデルとは何かを説明しなさい。
- ⑤ リーダーシップ理論においては、有効なリーダーシップは状況要因によって変わってくることが議論されている。それでは、ハウス・ミッチェル(House & Mitchell, 1974)のパス・ゴール理論(path-goal theory of leadership)とは何かを説明しなさい。

（2）以下の文章をよく読み、日本でのワーク・ライフ・バランスにおけるこれまでの課題と、現在の改革を通じた将来の展望の観点から論じなさい。

ワーク・ライフ・バランスとは、ワーク(労働生活)とライフ(家庭生活・個人生活)の双方をうまく調整し、バランスのとれた生活をおくれるようにすることである。ワーク・ライフ・バランスを学ぶうえで、知っておきたい施策として、「ファミリーフレンドリー施策」と「男女均等推進施策」がある。

ファミリーフレンドリー施策は、「会社が従業員に対して育児や介護がしやすいように支援する施策」を意味している。ワーク・ライフ・バランスにおいても、育児・介護と仕事の両立が大きな課題となっている。「男女均等推進施策」は、「男性・女性という性別に関係なく能力を発揮する均等な機会が与えられると同時に、処遇や人事評価において差別がないようにする施策」である。企業によっては、男女均等推進室を設置し、男女の均等化を進めている。

ワーク・ライフ・バランスを高めるには、この「ファミリーフレンドリー施策」と「男女均等推進施策」の両方が不可欠である。このように書くと、ワーク・ライフ・バランスは女性が中心の問題のように考えられるがそうではない。それは、ワーク(労働生活)とライフ(家庭生活・個人生活)の双方をうまく調整しバランスのとれた生活を送ることは、男性にとっても重要な問題だからである。また、ファミリーフレンドリー施策が解決しようとしている育児や介護の問題は、女性だけでなく等しく男性の問題でもある。

(出典：田中照純、小久保みどり編、守屋貴司 第5章4節執筆 『マネジメント論：管理、そして組織を考える』、ナカニシヤ出版、2017年、pp.118-119. (ISBN:978-4-7795-0351-1) 権利者の許可を得て掲載

問題 5 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 減価償却
- ② 営業利益
- ③ 工事進行基準
- ④ 公認会計士制度
- ⑤ 税効果会計

（2）キャッシュ・フロー計算書について、①その役割、②作成方法をそれぞれ説明しなさい。

問題 6 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 原価計算における「原価」
- ② 直接原価計算
- ③ 損益分岐点
- ④ 予算管理
- ⑤ 原価管理

（2）大規模な工場における製造原価の集計は、大きく 3 つの段階に区別される。その集計のプロセスを、仮設事例を用いて説明しなさい。

問題 7 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 資本コスト
- ② コーポレート・ガバナンス
- ③ モラルハザード
- ④ インフレーション・ターゲティング
- ⑤ ポートフォリオ

（2）金融政策の波及経路について、短期金融市場から金融市場全体へ波及するメカニズムを説明しなさい。ただし、無担保コールレート、コール市場、長期金利という言葉を使用すること。

問題 8 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① インターバンク市場
- ② CAPM
- ③ 効率的市場仮説
- ④ 信用チャネル（（銀行）貸出チャネル）
- ⑤ マイナス金利

（2）貸出しに際して、金融機関（銀行）は、借り手に担保を要求する。これは、担保が逆選択の解決につながるからである。担保により、逆選択問題が解決されるメカニズムを説明しなさい。ただし、担保、情報の非対称性、スクリーニングという言葉を使用すること。

以下の経営学分野、会計学・ファイナンス分野の問題 1～8のうち、2つを選択して日本語で解答しなさい。
答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

問題 1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 製品技術
- ② 生産技術
- ③ 技術移転
- ④ 技術指導
- ⑤ 技術流出

（2）リバース・エンジニアリングの有効性と限界を述べなさい。

問題 2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 職能別組織
- ② 事業部制組織
- ③ マトリクス組織
- ④ カンパニー制組織
- ⑤ 社内ベンチャー

（2）組織構造の選択における要因と、選択に伴う課題について、（1）で回答した 2 つの用語を踏まえつつ述べなさい。

問題 3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 市場シェア
- ② 経験効果
- ③ 小売業者
- ④ SWOT 分析
- ⑤ プッシュ戦略

（2）機会主義的行動は、企業間取引において必然的に発生する問題ではなく、特定の条件における取引のもとで発生しやすい問題であると言われている。機会主義的行動の概念を定義し、取引相手が機会主義的行動を取りやすくなるのは、どのような条件のもとになるのかを説明しなさい。

問題 4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① マーケティング・ミックス
- ② プライベート・ブランド
- ③ 取引コスト
- ④ 市場細分化
- ⑤ プル戦略

（2）製品ライフサイクルの 4 つの段階を、図表を用いながら以下の言葉を全て使って説明しなさい。
売り上げ、利益、顧客、競合他社、マーケティングの目標

問題5 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 固定資産の減損
- ② 包括利益
- ③ 販売基準
- ④ 財務諸表監査
- ⑤ 確定決算主義

（2）株主資本等変動計算書について、①その目的、②損益計算書および貸借対照表との関係をそれぞれ説明しなさい。

問題6 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 管理会計
- ② 直接費と間接費
- ③ 固定費と変動費
- ④ 許容原価思考
- ⑤ 利益中心点（プロフィット・センター）

（2）管理会計において用いられる損益計算書は、①どのような構成になっているか、②なぜそのような構成になっているか、についてそれぞれ説明しなさい。

問題7 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① マネタリーベース
- ② CAPMにおけるベータ（ β ）
- ③ （銀行の）自己資本比率規制（バーゼル合意）
- ④ プルーデンス政策
- ⑤ 日銀預け金（日本銀行当座預金）

（2）金融仲介には直接金融と間接金融がある。日本はアメリカとは異なり、間接金融が直接金融に比べて優位であるといわれている。この点をふまえて以下の2つの問題に答えなさい。

- ① 直接金融と間接金融との違いを説明しなさい。
- ② 間接金融が直接金融に比べて優位な状況がもたらすリスクについて説明しなさい。

問題8 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① フリーライダー（ただ乗り）問題
- ② マネーストック
- ③ リスクプレミアム
- ④ 割引現在価値
- ⑤ スクリーニング

（2）企業が社債を発行するに当たっては、格付会社の格付をもらうことが一般的である。格付は、企業の社債の発行に関して、どのような影響を及ぼしているのかを説明しなさい。ただし、説明に際しては、格付、信用リスク、資本コストという言葉を使用すること。